

上 田 勉

アフガニスタン 日本人と日本に協力したアフガン人計約 500 人、避難できず取残される

◆総裁選が忙しくて、自国民や協力アフガン人を救出するところではないのだ (〇〇党)

◇杉原千畝 (ちうね) (在リトアニア外交官「命のビザ」) & 中村哲医師が泣いている

アフガニスタンではタリバンが政権を掌握して、各国は、自国民と協力したアフガン人の避難に全力を挙げました。多くの国が、最後の飛行機が離陸するまで、大使館員がアフガン人にビザの発給を行いました。

以下は、今井佐緒里さん (欧州/EU・国際関係の研究者・執筆家・編集者) の記事からです。(YAHOO! ニュース 8/28(土) 7:00) <https://news.yahoo.co.jp/byline/saorii/>

◎カナダ 統合参謀長代理のウェイン・エア将軍によると、カナダは約 3,700 人のカナダ人とアフガニスタン人を避難させたか、避難を促したとのこと。

◎英国 大使館員は最後まで、空港内でアフガン人にビザを発給し続けた。英国国防省によると、これまでに英国は 1 万 3,700 人以上の英国人とアフガニスタン人を避難させた。

◎ドイツ ドイツは 26 日に避難を終了した。ドイツ軍は 4,100 人以上のアフガニスタン人を含む、5,347 人を避難させた。なお、ベルリンの外務省報道官は 27 日、約 300 人のドイツ人がアフガニスタンに残っていると述べた。

◎フランス フランス国防省によると、26 日夜の時点で、100 人以上のフランス人と 2,500 人以上のアフガニスタン人が、カブールから避難してフランス国内に到着した。

◎イタリア イタリアは、26 日までに 4,832 人のアフガニスタン人が、アフガニスタンから脱出したと発表した。

◎スウェーデン リンデ外相によると、現地で雇用されている大使館員とその家族を含め、合計 1,100 人が避難した。

◎ベルギー デ・クロー首相は 26 日、ベルギーが避難活動を終了したことを発表した。1,400 人強の人々が避難した。

◎ポーランド モラヴィエツキ首相は 24 日、女性 300 人、子供 300 人を含む約 900 人をアフガニスタンから避難させたと発表した。

◎ハンガリー ベンコ国防相は 26 日、ハンガリー市民と、ハンガリー軍で働いていたアフガン人とその家族など 540 人を輸送し、アフガニスタンからの避難を終了したと発表した。

◎デンマーク 国防省によると、8 月 14 日以来、外交官やその家族、元通訳者、デンマーク国民、そして同盟国の人々など、約 1,000 人をアフガニスタンから退避させた。

◎スイス ドイツと米国の支援を受けているスイスは、292 人をアフガニスタンからウズベキスタンの首都タシケント経由で脱出させたと、カシス外務大臣は 24 日発表した。

◎オランダ オランダ政府は 26 日、8 月 15 日以降、アフガニスタンから 2500 人を避難させ、そのうち約 1,600 人をオランダに連れてきたと発表した。

◎スペイン スペインは今回の救助任務で、欧米諸国や国連、欧州連合 (EU) で働いてい

た1,898人のアフガニスタン人を避難させた。

◎トルコ チャヴシュオール外相は今週の初め、約1,000人のトルコ国民を含む、少なくとも1,400人をアフガニスタンから避難させたと述べた。

◎カタール カタールは26日、4万人以上の人々をドーハに避難させたと発表した。

◎アラブ首長国連邦 UAEは26日、これまでに3万6,500人の避難を支援したと発表した。

◎インド インドはアフガニスタンから565人を空輸した。そのほとんどは大使館員や現地在住の市民だが、アフガニスタンのシーク教徒やヒンズー教徒を含む数十人のアフガニスタン人も含まれていると、政府関係者が匿名を条件に述べた。

◎オーストラリア モリソン首相は27日、9日間でオーストラリアは4,100人を避難させたが、そのうち3,200人以上は豪市民と、同国のビザを持つアフガニスタン人であるという。

◎韓国 韓国大統領府などによると、大使館や国際協力団などで働く現地スタッフとその家族は427人。24日は26人しか空港に入るのに成功しなかった。そこで、カタールに避難していた大使館員4人がカブールに戻って直接交渉にあたり、会社のバス6台を確保する。25日、米軍側が指定した空港外の待ち合わせ場所から、バス移動で検問を通過したという。バスの中には米軍兵が乗っており、空港に入ることができたということだ。

◎ロシア 25日から26日にかけて軍の輸送機、4機をカブールに派遣し、ロシア人のほか友好国のベラルーシ、タジキスタンなどの市民あわせて500人以上を、ロシアや中央アジアなどに退避させた。空港までのバスにはタリバン兵に誘導してもらい、検問を突破した。

◎日本 日本大使館の職員12人はいち早く避難する。政府は、日本人等に対して、自力でカブール空港へ来ることを指示するが、タリバンの検問に阻まれて空港へ来ることができず。再度バスをチャーターするも、自爆テロによって空港へ行けず、輸送は中止される。自衛隊機3機と政府専用機1機がカブール空港へ派遣されたが、避難できたのは日本人女性1人とアフガンの旧政府要人14人（米国の要請）だけ。約500人の日本人とアフガン人協力者が現地に残される。日本に協力したアフガン人の救出は0人。日本国政府から見捨てられる。



【アフガニスタンのハミド・カルザイ空港で米空軍C-17で退避するアフガン人。22日（提供:U.S. Air Force/ロイター/アフロ）】